

bingo!CMS core

v1.00からv1.1へのアップデート方法

1. データベースのバックアップ

アップデートを実施する前に必ずデータベースのバックアップをお取りください。

コマンドを利用してバックアップを取る

sshやtelnetを利用できるサーバの場合、以下のコマンドによりバックアップを取ります。

【PostgreSQLの場合】

`pg_dump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名`

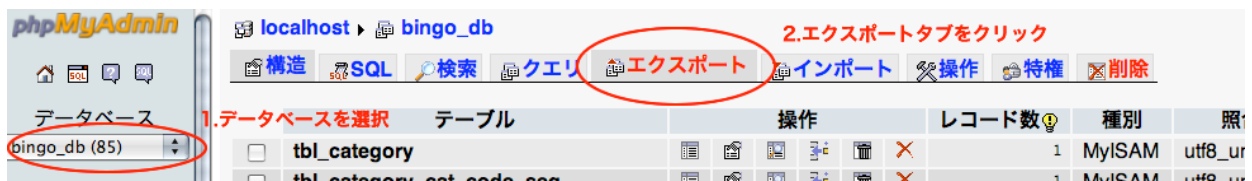
【MySQLの場合】

`mysqldump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名`

phpMyadmin、phpPgadminを利用してバックアップを取る

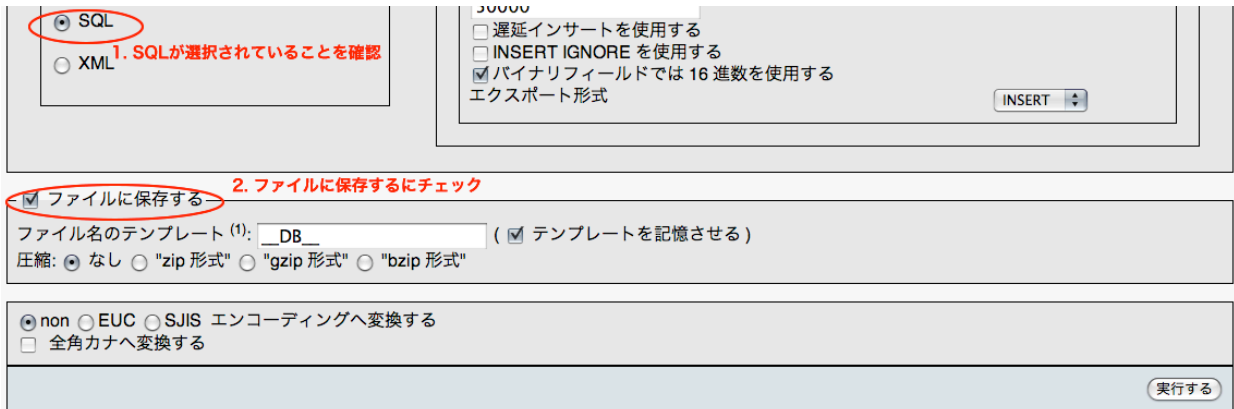
mysqladmin、またはpgsqladminといったツールがある場合は以下の方法でバックアップを取ることが可能です。以下ではphpMyadminでの説明を致しますが、phpPgadminの場合も手順は同様となります。

1. phpMyadminにログイン後、ページ左「データベース」プルダウンメニューにてご使用のデータベースを選択し、図の「エクスポート」タブをクリックします。



2. 次にエクスポート画面にて形式をSQL、そしてページ下部の「ファイルに保存する」にチェックを入れ実行します。

▼ファイル保存ダイアログが表示されますので適当なファイル名にて保存してください。



bingo!CMS core v1.00ファイルのバックアップ

FTPでサーバーへ接続し、以下のディレクトリ、及びファイルをダウンロードし保存します。

/ドキュメントルート/global-image/header/

/ドキュメントルート/global-image/page/

/ドキュメントルート/global-image/units/

/ドキュメントルート/global-image/usr-prof/

/ドキュメントルート/usr-data/template/

※上記のフォルダは画像のアップロードをしていない場合、作成されていない場合があります。

/app/etc/installcnf.php

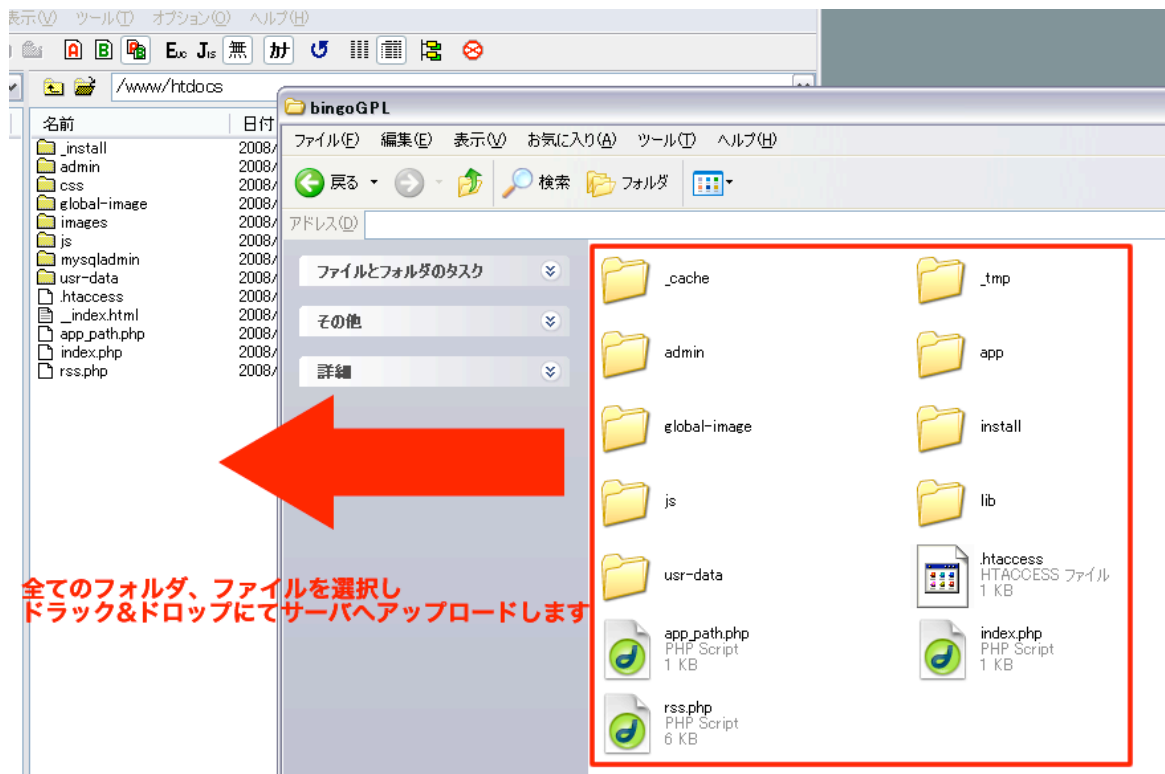
保存後、以下のディレクトリを削除します。

template/simple-black =>削除

template/simple-black-sec =>削除

bingo!CMS core v1.1ファイルの展開

1. <http://www.bingo-cms.jp/opensource/download/>より「バージョン 1.1」のパッケージをダウンロードください。
2. bingo-gpl-1.1.tgzを解凍します。
※tgzの解凍に関してwindowsをお使いの方は「解凍レンジ」や「+Lhaca デラックス版」をご利用ください。
3. サーバのドキュメントルートに設定されているディレクトリ内にv1.1の解凍ファイルを全てアップロードします。
※置き換え、上書きの警告が表示される場合は全て置き換え、上書きします。



※Unix不可視ファイル「.htaccess」が含まれておりますのでMac OSX、Unix、Linuxをお使いの方はご注意ください。Mac OSX Finderの場合、コマンド+Fにて検索ウィンドウを表示させ、条件として「その他」を選択、そして条件検索にて「不可視」にて検索し条件追加すると.htaccessが表示されます。

bingo!CMS core v1.00バックアップファイルのアップロード

前述「bingo!CMS core v1.00ファイルのバックアップ」にて保存したファイルをアップロードします。

1. バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/header/

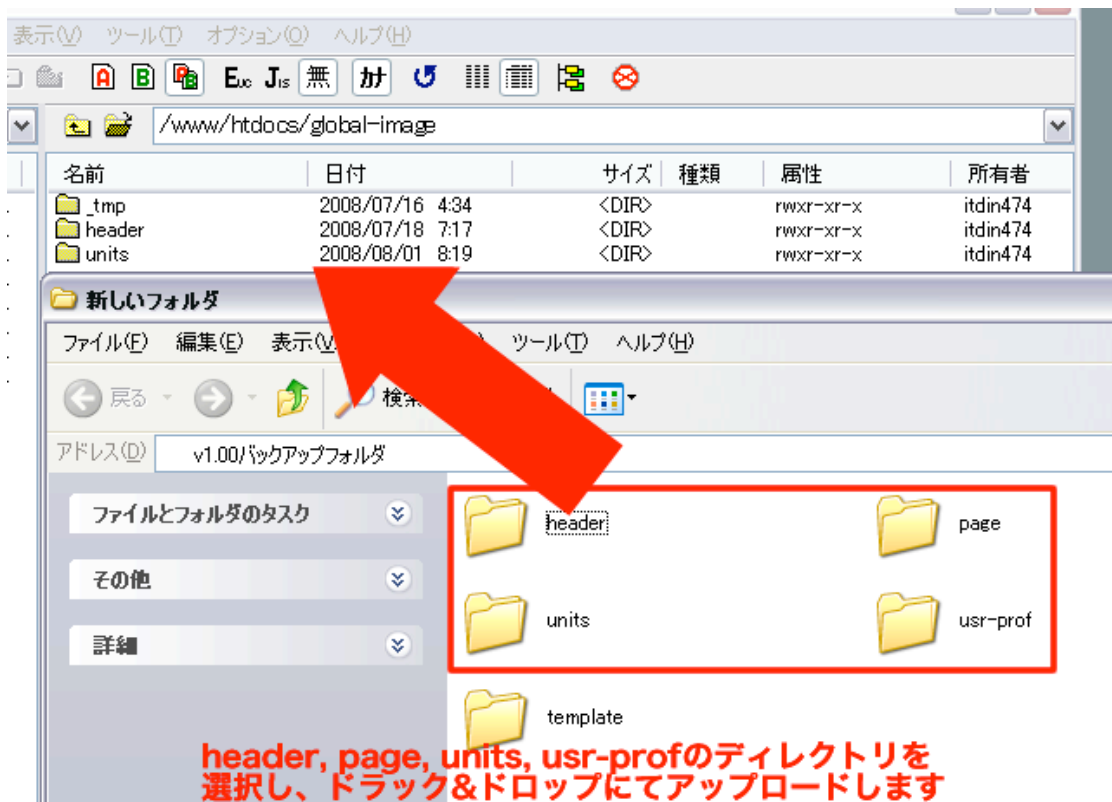
バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/page/

バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/units/

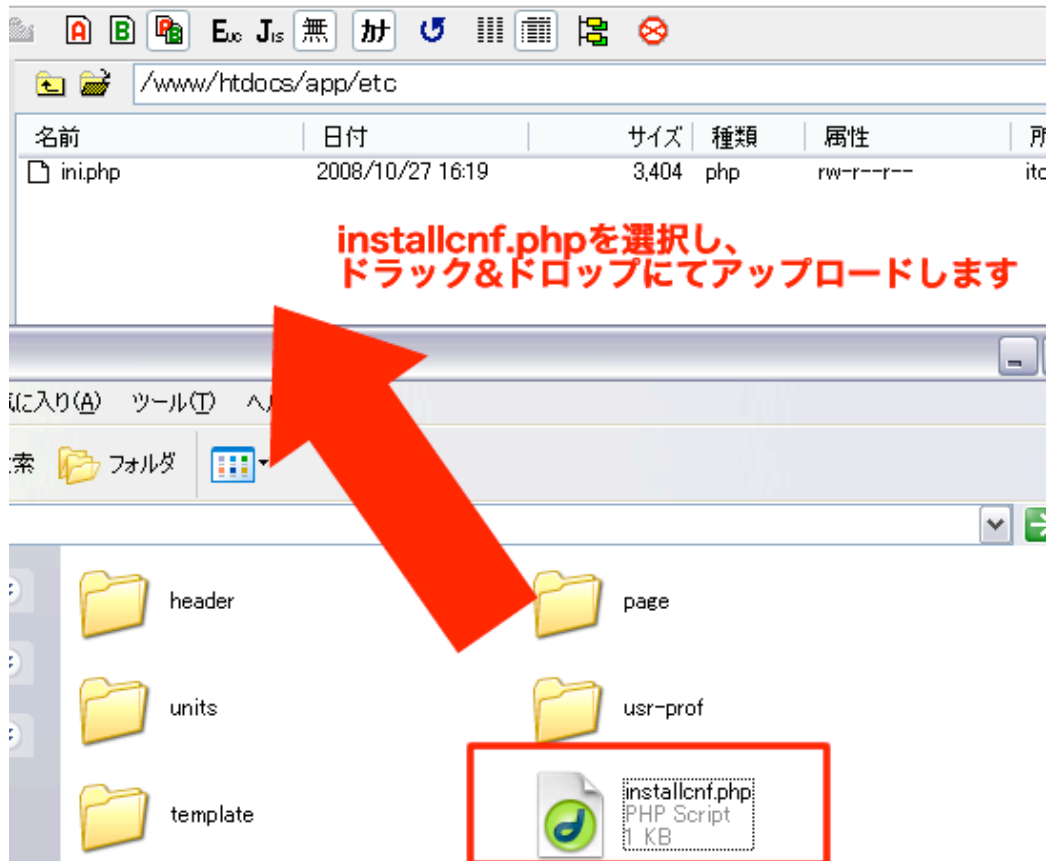
バックアップファイルを保存したディレクトリ/global-image/usr-prof/

をサーバ上の/ドキュメントルート/global-image/にアップロードします。

※置き換え、上書きの警告が表示された場合は、置き換え、上書きを選択します。



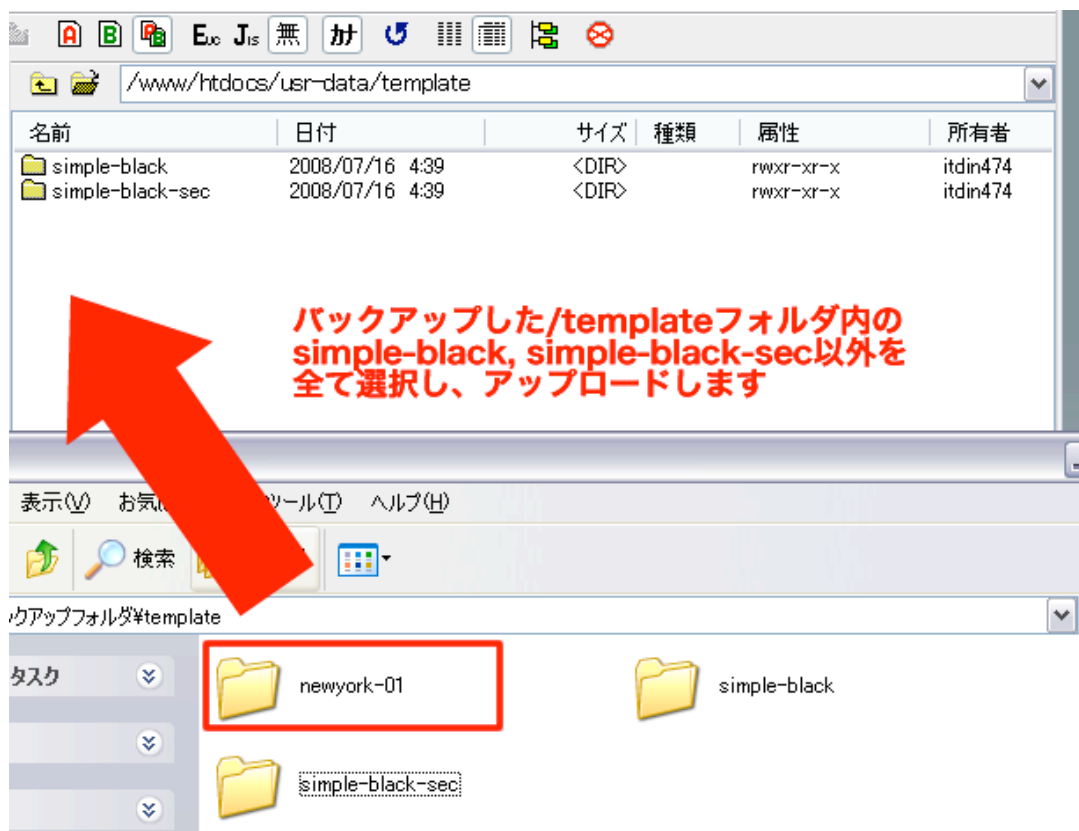
2. 次にバックアップしたinstallcnf.phpをサーバー上の/ドキュメントルート/app/etc/へアップロードします。



3. 最後にバックアップした/template/ディレクトリの内容をサーバー上の/ドキュメントルート/usr-data/template/以下にアップロードします。

※v1.00をご利用の際、追加テンプレートをインストールしていない場合、template以下は空の状態になりますのでアップロードの必要はありません。

※simple-black、及びsimple-black-secディレクトリがある場合は必ず削除いただき、アップロードしないようご注意ください。



bingo!CMS core専用 v1.00 → v1.1アップデートツールの実行

ファイルのアップロードは完了しましたので次に、設定ファイルの移行、データベース構成をv1.1へ移行させる自動アップデートツールを実行します。

バージョンアップツールパッケージに含まれているv1.1update/フォルダをサーバー上の/ドキュメントルート/admin/以下にアップロードし、ブラウザにて次のURLにアクセスします

http://ドメイン名/admin/v1.1update/index.php

図の画面が表示されましたら「次へ進む」ボタンをクリックしてください。

自動的にバージョンアップが実行されます。

データベース	PostgreSQL7.4.1以上、MySQL4.0以上
その他	MySQL4.0の場合 PHP設定項目のmbstring_encoding_translationをoffにする必要があります。

開始します

次に進むボタンをクリックすると自動的にアップデート処理が開始されます。開始前に必ずバックアップをとってください。

次に進む ➡

以下の画面が表示されましたらバージョンアップ作業完了です。

サーバー上の/admin/v1.1update/ディレクトリを削除してください。

bingoCMS core専用v1.0 → v1.1バージョンアップツール

アップデート処理実行

・ BASEPATHを更新しました

・ データベース構成を更新しました

バージョンアップが完了しました。

/admin/v1.1update/ディレクトリを削除後、このウィンドウを閉じてください。

。今後ともbingo!CMSをどうぞよろしくお願いいたします。